令和５年度　第３回　新井小学校　学校運営協議会

１．日時・場所：令和５年９月７日（木）13：30　相談室
２．校長より挨拶
（学校の様子を学校ブログを使って紹介）
・１年生けんばんハーモニカ出前授業
・どんぐりの会読み聞かせ（保護者ボランティア）学校行事「読書フェスティバル」と合同企画
・市川市役所交通課の方をお招きし、１年生に対して交通マナー・ルールの出前授業
・４年生の大町方面校外学習で自然体験、動植物園での生き物との触れ合い
・１年生しゃぼん玉体験出前授業
・吹奏楽部７月２３日「千葉県吹奏楽部コンクール」出場、金賞受賞　東日本大会出場

コロナ禍でできなかった様々な体験活動や外部の方を招いた出前授業などの取り組みを積極的に！

３.「前期の学校評価について」（説明：校長）
①確かな学力の項目について
・「お子さんは授業がわかりやすいと言っている」評価アップ
・「お子さんは、各教科の学習内容が身についている」評価ダウン
→内容の定着を図る工夫をする必要がある
・「お子さんは、読書が好きである」評価ダウン
→今後の課題。具体的取り組みが必要

②豊かな心の項目について
・「お子さんが学校を楽しいと感じている」評価アップ
・「お子さんは、友だちや近所の人などに、自分から進んであいさつをしている」評価アップ

③健やかな体
・「お子さんは規則正しい生活習慣が身についている」評価アップ
・「お子さんは進んで（外で遊ぶなど）体を動かしている」評価ダウン
→外で遊ぶ子とそうでない子の二極化。運動をしたくなるような取り組みが必要

④信頼される学校
・多くの項目で昨年度とほぼ横ばいか低下のものが多い。
→学校の様子、取り組みを学校ブログなど、さまざまな方法で紹介していく。知ってもらうことが必要だろうと考えている。

⑤ブロックの連携
・「学習規律が保たれている」評価アップ

・いじめ対策の活動に関する項目で評価アップ

⑥自由記述欄について
・一部内容紹介（省略）

（説明を受けて質問・意見）
・学校アンケートの結果が親と子で差があるのは、親が忙しくて子供のことが見れていないか。
・市内の学校を見ても「特色ある学校」の数値が低いが、どの学校も同様で、特色をつくっていくこと自体が難しい。
・学校の努力を感じる。評価は変わるが、それは絶対として捉えずに見返す機会として。
・学校アンケートに回答をしない親の方が気になる。（回答率 84％）
・「学校が楽しいと感じている」親 92%、子 85％　この差から見えるものは何か。
→親と子が話ができていない？　調査が６月なのでクラス替えの影響も？
→クラス替えで友人関係づくりの再構築になることはプラス面もある。
高学年になるにつれて評価は下がる傾向にある。
→中学校へいけばさらに評価は下がる傾向にあるため、成長の証とも捉えられる？

（来年度のグランドデザイン　地域の方々が期待する学校像　意見）
・あいさつを大人がする。子供に「しなさい」ではなくて。
・あいさつをしてくれる子が増えているように感じる。その一方で、誰にでも挨拶というのは怖さもある。変な人も見られる。

・校庭を広くしてはどうか。地域で外遊びをする公園が少ない。ボール遊びもなかなかできない。

・幼小中の連携をしなくてもよいという保護者の声があるが、学校はどう考えているか。
→学校の良さ、取り組みの良さが伝わっていない保護者の方がいる。そのため、理解を得られるように進めていく必要がある。
・「読書」から身につくものがあると思う。高学年から好きになるというのも難しい。低学年の段階からの取り組みが重要だろうと思う。本の楽しさを味わわせることが重要。

４．報告及び意見
・４町会、熊野神社のお祭り 10/7.10/8（10/6）
・広尾 8/26 健康祭り　新井小、南行徳中の吹奏楽部の参加に感謝。
・南行徳中ブロック推進委員ＦＡＭの活動。
・ＰＴＡより新井っ子秋祭りにて赤十字による献血実施。（事前に地域に参加呼びかけ）
５．その他
・給食の形式はコロナでどうなったか。→今は制限ないが、前向きで食べることが多い。